

バスケットボール競技要項

期 日 平成16年 7月 3日(土)・ 4日(日)

会 場 鈴鹿市立体育館

開 会 式 9時00分

閉 会 式 競技終了後

チーム人員 監督1名、コーチ1名、主務1名、選手15名以内、計18名以内
(その他にアシスタントコーチ1名をおくことができる。)

競技規則 2004年日本バスケットボール協会競技規則による。

競技方法 男女ともリーグ戦(1回戦制)とする。

(注)順位決定方法

- (1) 勝率による。
- (2) 2チーム同勝率の場合、その2チームの勝者を上位とする。
- (3) 3チーム又は5チーム同勝率の場合、関係チームの試合における総得点と総失点の差(ゴールディファレンス)の大きい方を上位とする。
- (4) (3)の差が同じときは、関係チームの試合における総得点を総失点で割った値(ゴールアベレージ)の大きい方を上位とする。

表 彰 1位に優勝杯を、1位、2位に賞状を授与する。

そ の 他

- (1) ベンチは組合せ左側のチームがオフィシャル席に向かって右側とし、ユニホームは白色とする。
- (2) ユニホームの番号は、4番から18番までとする。
- (3) 24秒ルールは、電光デジタル式24秒タイマーを使用する。
- (4) 試合球は日本バスケットボール協会公認球(男子は7号、女子は6号)とする。
- (5) 試合開始時刻は原則として定刻とする。前の試合が遅れた場合は、終了10分後とする。
- (6) 男子優勝校は第39回全国高等専門学校体育大会への出場権を得るものとする。
ただし、全国大会開催校が1位校となった場合は、2位校が全国大会出場権を得るものとする。
女子の優勝校は第39回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技への出場をかけて、北陸地区優勝校との代表決定戦への参加資格を得るものとする。
- (7) 監督・主将会議を開会式終了後バスケットボール会場本部にて行う。
- (8) 選手に変更のある場合はメンバー票を5部作成し、監督・主将会議に提出すること。
- (9) 各校5名ずつのオフィシャル要員を出すこと。